

木質バイオマス 利用促進によるCO₂排出削減事業

静岡の森と農をつなぐ
コンソーシアム

山本修司

静岡県地球温暖化防止活動推進センター

コンソーシアム事業の目的

①木質燃料の農業利用によるCO₂排出削減

・農業での木質燃料利用

- ・温室の加温
- ・出荷場、作業場等の暖房

・地域の活性化

- ・燃油高騰対策、営農安定化
- ・エコ作物などの環境付加価値



コンソーシアム事業の目的

- ② エネルギーの地産地消意識の醸成
- ③ 木質燃料利用に関する周知広報

STOP
地球温暖化!
<http://sccca.net>

木を燃料にした、森と農をつなぐ
プロジェクトが始まりました!

静岡の森と農をつなぐ
コンソーシアム事業

ここがポイント!!

- 森の木は地球に優しい燃料です!
- 燃やしてもCO₂排出ゼロと見なされます!
- 地球温暖化防止に貢献します!

◆ 温室への《木質バイオマスボイラー》導入を推進します!

◆ 燃料には《静岡県産材の木質ペレット》を使います!



コンソーシアム立ち上げの経緯

- ・ 従来より交流のあったNPOと事業実施に向けて検討を開始

コンソーシアム立ち上げのポイント

- ・ 木質ペレット加温機導入に詳しいNPO
- ・ 原料生産に詳しい森林関係のNPO
- ・ 行政(静岡県・市町)の参加



コンソーシアムの概要

森林事業者



C, D材等

・木質ペレット原料生産支援

木質ペレット製造工場
(富士総業株式会社)



木質ペレット

・木質ペレットボイラー導入支援
・木質ペレット燃料供給支援

施設園芸農家



木質ペレット加温機

二酸化炭素削減
燃料費削減
エコ商品販売



コンソーシアム

林業関係NPO

みどり情報局静岡

森林エネルギー関係NPO

森林エネルギー研究会

静岡県地球温暖化防止活動推進センター

静岡県、市町

・市町などへの協力要請(静岡県)
・事業参加者への協力要請(市町)
・プレスリリース、事業周知等

・環境付加価値のアピール
・効果、データ等の公開
・公開研修を実施し、一層の周知
・事務局業務一般

関係するNPOの役割

・ 静岡森林エネルギー研究会

- ・ 木質バイオマスボイラーの導入を支援し、また木質燃料がスムーズに供給される仕組みの構築について提案する。
- ・ 静岡県民へ事業を周知広報するため、セミナー等を実施する。



・ みどり情報局静岡

- ・ 静岡県産木材を木質燃料の原料として利用する仕組みの構築について提案する。
- ・ 静岡県民へ事業を周知広報するため、セミナー等を実施する。



「静岡の森と農をつなぐコンソーシアム」 設立総会に関する記事 (H24. 7. 20)

- ・ 静岡新聞 (朝刊)
- ・ 日本経済新聞 (朝刊)

日本経済新聞

静岡経済

2012年(平成24年)7月20日(金曜日)

木質バイオボイラー

園芸農家の導入促進

県温暖化防止センターが組織

静岡県地球温暖化防止活動推進センターは19日、施設園芸農家に木質バイオマスボイラーの導入を進める推進組織を設立した。ハウス栽培で重油ボイラーを使う農家に転換を促し、二酸化炭素(CO₂)や燃料費の削減につなげる。

設立したのは「静岡の森と農をつなぐコンソーシアム」。

「シム」。同センターや県のほか、特定非営利活動法人(NPO法人)の静岡森林エネルギー研究会などが参加する。ハウス栽培では重油ボイラーを使ってハウス内を温めるケースが多い。環境省の補助金を活用して2軒程度の農家に試験的に木質バイオマスボイラーを導入。燃料には県産の間伐材などを利用した木質ペレットを使う。今冬に稼働させて効果を検証する。

県産の木質ペレット燃料を活用して二酸化炭素(CO₂)の排出量削減や地域活性化を目指す官民共同団体「静岡の森と農をつなぐコンソーシアム」が19日、静岡市内で発足した。重油ボイラーを使用する県中部の施設園芸農家に対し、木質ペレットボイラーの導入支援を図り、環境に優しい「エコ農作物」の生産につなげる。

普及へ官民団体

木質燃料で「エコ作物」

コンソーシアムは県や静岡市、牧之原市、NPO法人静岡森林エネルギー研究会、みどり情報局静岡、県地球温暖化防止活動推進センターの担当者で構成する。木質バイオマス利用促進によるCO₂削減事業として、環境省の補助金交付を受ける。

木質ペレットは間伐材や木片を粉碎し、圧縮・成型したバイオマス燃料。燃焼時に発生するCO₂は原木が成長する過程で吸収するCO₂と相殺されるとみなされるため、環境にほとんど影響を与えないという。

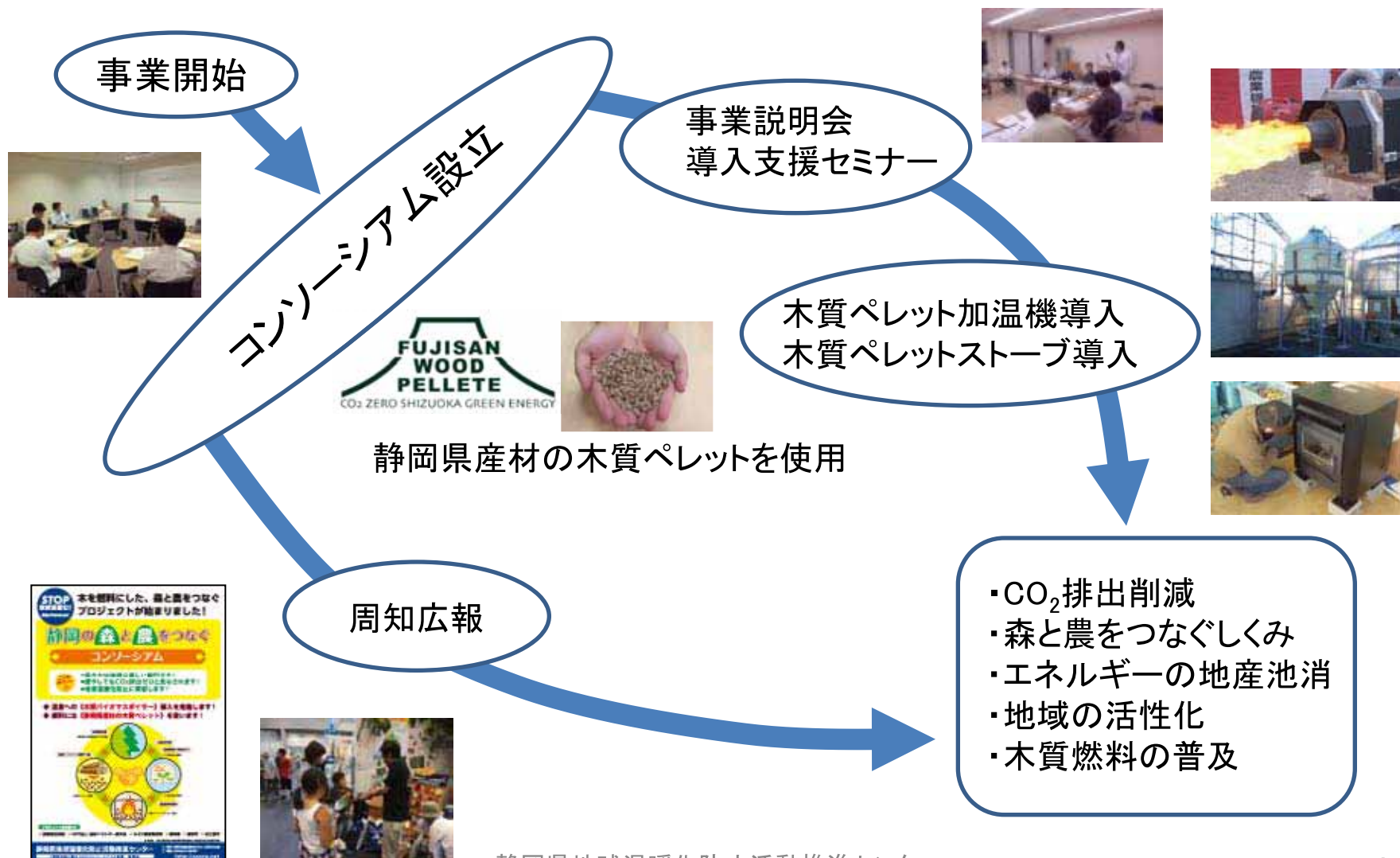
県内では小山町内と浜松市内で木質ペレット製造工場が稼働している。

県やNPO 中部農家の導入支援

県中部には製造工場がなく、利用促進が課題になっていた。コンソーシアムは木質ペレット燃料を導入している県東部のバラやトマト農家、県西部のメロン農家の実例を参考に、県中部の農家にもPRする。

コンソーシアム事務局の試算では、ボイラー燃料を重油から木質ペレットに転換した場合、300坪のガーベラ農家で年間約50トンのCO₂削減効果があるという。静岡市内で開かれたコンソーシアムの設立総会で、担当者は「県産の木質ペレットを地産地消として作物栽培すれば、付加価値創出や商品の差別化につながる」と期待を込めた。

事業実施の流れ

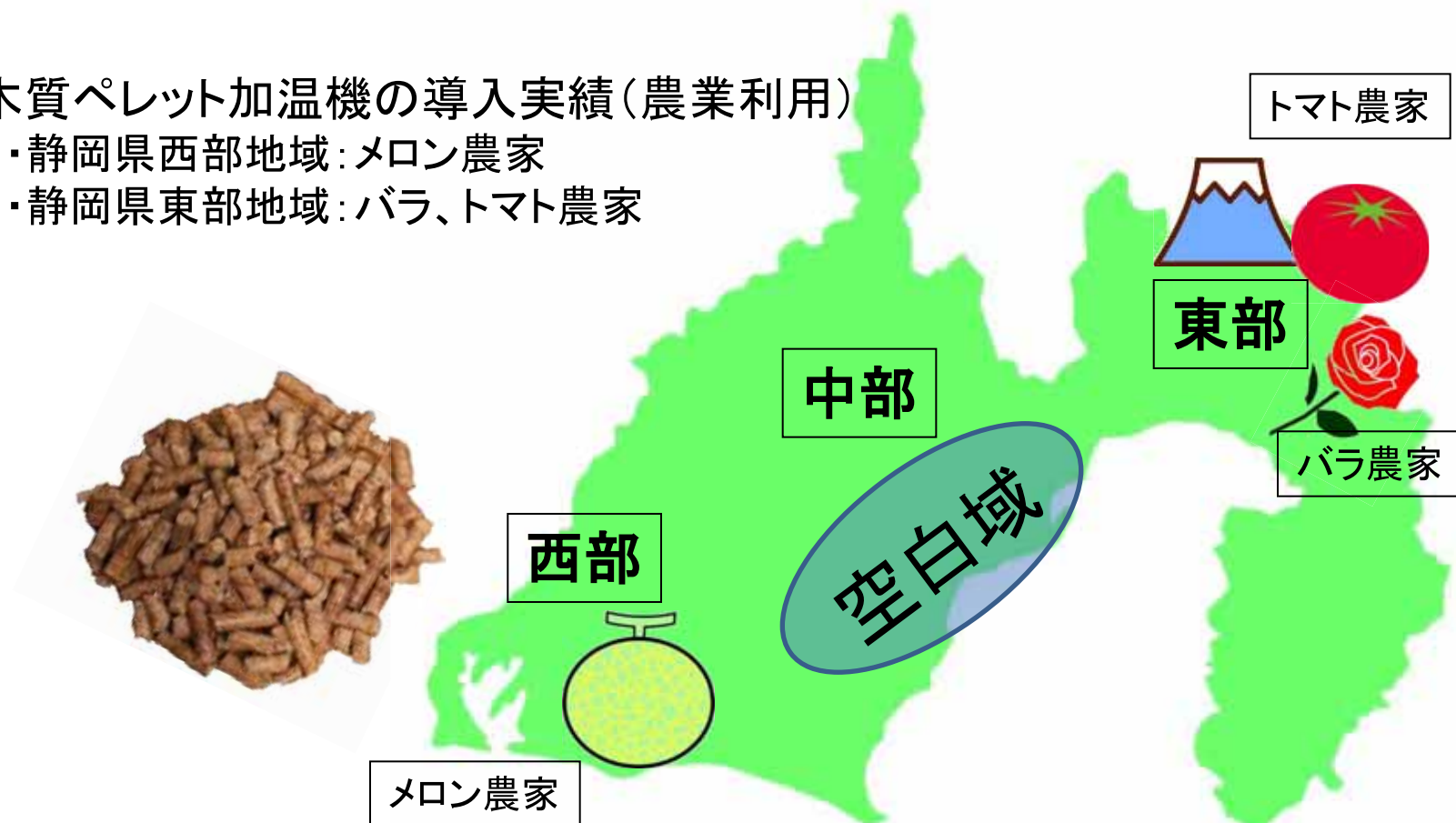


事業実施にあたってのポイント

空白域の静岡県中部地域への導入を目指した

木質ペレット加温機の導入実績(農業利用)

- ・静岡県西部地域:メロン農家
- ・静岡県東部地域:バラ、トマト農家



事業実施にあたってのポイント

木質燃料について広く知ってもらふ事業内容とした

- ・事業説明会
- ・導入支援セミナー
- ・周知広報セミナー
- ・導入見学会

再生可能エネルギーの
特長を知ってもらう



ここが
ポイント
!!

- 森の木は地球に優しい燃料です!
- 燃やしてもCO₂排出ゼロと見なされます!
- 地球温暖化防止に貢献します!

事業説明会・導入支援セミナー

農家への事業説明会や導入支援セミナーを実施



先進事例視察
ペレット工場視察 など

事業説明会

導入支援セミナー

導入事例調査

熊本県八代市・熊本市で加温機の導入事例を調査



加温機の設置構造を確認
農家とのディスカッション
温室の広さに対する加温性能の確認
動作最適化のために温度設定などを確認

木質ペレット加温機、ストーブ導入



木質ペレット加温機設置

木質ペレットストーブ設置

施設見学会

農家や関係者向けの見学会を実施
見学後に意見交換会を開催



施設見学会



意見交換会



周知広報

静岡県内で開催されたイベントへブース出展



牧之原市産業フェア



全国育樹祭



静岡県住まい博

静岡県住まい博では、
シール貼りアンケートの結果、
ブース来場者の約3割が
「木質ペレットを知っている」と回答



周知広報

静岡県主催のバイオマス利活用セミナーで事業紹介



静岡森林エネルギー研究会のメンバーが講演し、事業を紹介した
(コンソーシアムメンバー)

周知広報

みどり情報局静岡による間伐体験やセミナー(コンソーシアムメンバー)



「説明と実習を通じて森の様子(間伐、原料生産現場の様子)が良く分かった。「まち」が「もり」の方を向くようになることが大切だ」との声

事業の効果

- CO2排出削減量 約18[t-CO₂] (推計値)
- 生産から出荷まで多様な場面で導入
- 静岡県中部で初の導入事例となった



温室への加温機導入



作業場へストーブ温機導入

事業の効果

・ブランド力のある農作物の温室に導入

アメーラ®トマトは、静岡県では地元ブランドとして広く知られている
品質管理を徹底した複数の農家がグループで栽培している

- ・アメーラ®トマト栽培グループへの波及効果が期待できる
- ・多くの農家の関心を高めることができる



テレビのインタビューに答える近隣の農家(後述)



メディア履歴

・新聞

静岡新聞 「ペレット暖房でエコ栽培」 1/31

・テレビ

NHK静岡（おはよう静岡・たっぷり静岡） 1/29,30

NHK名古屋（おはよう日本 東海北陸） 1/30

SBS静岡放送（イブニングEye） 2/4

SATV静岡朝日テレビ（Team Earth） 2/10

・ラジオ

SBS静岡放送（朝だす！） 2/18

メディア履歴



静岡新聞（朝刊）
H25. 1. 31



NHK 静岡・名古屋
・ たっぷり静岡
・ おはよう静岡
・ おはよう日本
H25. 1. 29, 30



SBS 静岡放送
・ SBSイブニングeye
H25. 2. 4



SATV 静岡朝日TV
・ Team Earth
H25. 2. 10



SBS 静岡放送
・ 朝だす!
H25. 2. 18